

癒し

知っておきたいキリスト教のことば (19)

聖書を読むと、イエス様が病気の人を癒す記事が多くみられます。この「癒し」という言葉ですが、わたしたちが普段使っている「治療」という意味とは、少しニュアンスが違うようです。「治療」とは、身体の中で異常をきたした患



部の機能回復を目的としておこなわれます。それに対して「癒し」は身体だけではなく心も含めて、全体的な回復を目指すものです。病を抱える身体と、これに悩む心の両方を回復させることなのです。

2000 年前のユダヤでは、病気になることは罪の結果だと考えられていました。日本の「バチがあたる」という考え方も、それに近いのかもしれません。罪を犯すことは、神さまから離れることを意味します。その結果として悪霊が身体を支配して、病を引き起こすと考えられていたのです。

その人たちに対して、イエス様は「癒し」のみ手を伸べられました。この「癒し」という原語の中には、「仕える」、「他人を世話する」、「医療上の処置をする」という意味が含まれています。イエス様は病の人たちに声を掛け、手を置くという行為の中で、人に仕え、世話をし、病に侵された身体と心を回復させているのです。

さらに「癒し」は、「罪の赦し」とも関連づけられます。罪が赦されることによって、罪の結果と見なされていた病が消えるということです。その「癒し」によって罪から解放された人は神さまとの和解へと導かれ、神さまとの関係は本来のあるべき姿に戻っていくのです。

わたしたちもイエス様に癒していただきましょう。イエス様は、わたしたちがイエス様を信じることによって、生まれながらにして持っている「罪」の束縛から解放されると約束してくださるのです。

次回は「インマヌエル」です。お楽しみに。